

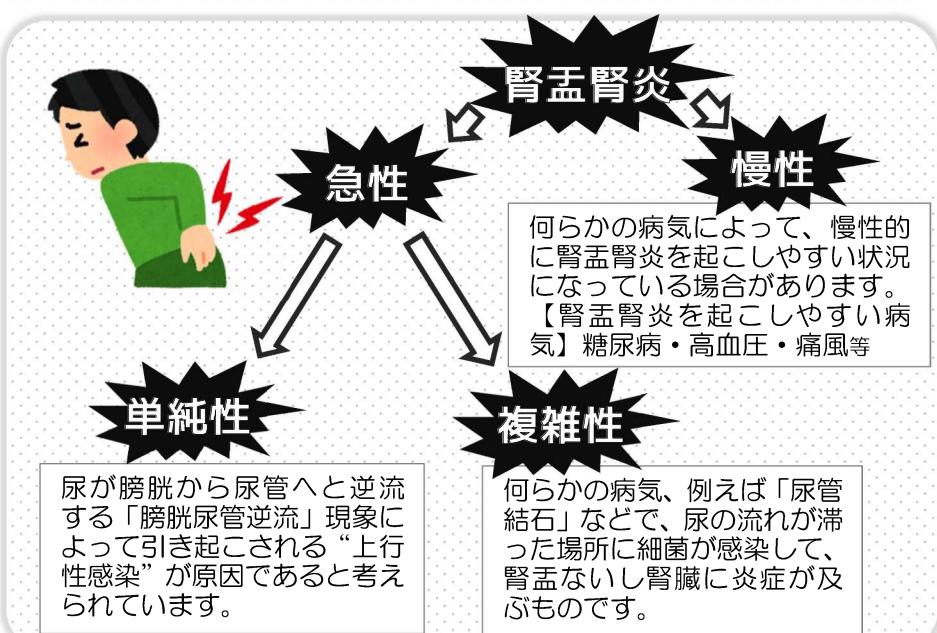
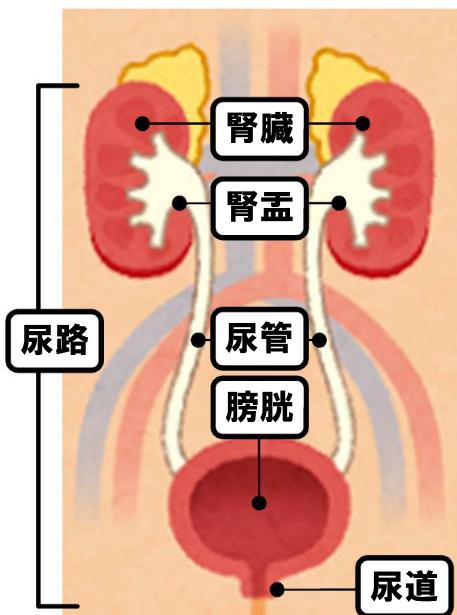
テーマ：尿路感染症とは

尿が作られて排出されるまでにたどる、腎臓から尿道までを「尿路」といいます。この尿の通り道に細菌が感染し、炎症が起こるものを「尿路感染症」といいます。

尿路感染症の多くは、尿道口から侵入した細菌が尿路をさかのぼって感染、炎症を起こす“上行性感染”によるものです。とくに女性は尿道が短いため、尿路感染症にかかりやすいといわれています。主な尿路感染症には「腎孟腎炎（じんうじんえん）」「膀胱炎」「尿道炎」があります。

じんうじんえん 腎孟腎炎とは

腎孟腎炎は、腎孟および腎臓に細菌が感染して、炎症が起こる病気です。急性と慢性があり、さらに急性は単純性と複雑性に分けられます。



急性腎孟腎炎の症状

・高熱	・悪寒や震えを伴う38度以上の高熱 ・熱の上がり下がりが激しい
・腰痛	鈍い痛み、叩くと痛む
・尿のにごり	膿が混じる

慢性腎孟腎炎の症状

活動期	非活動期
急性とほぼ同じ	・全身のだるさ ・微熱 ・残尿感



すぐに受診をしてください。
入院になることもあります。

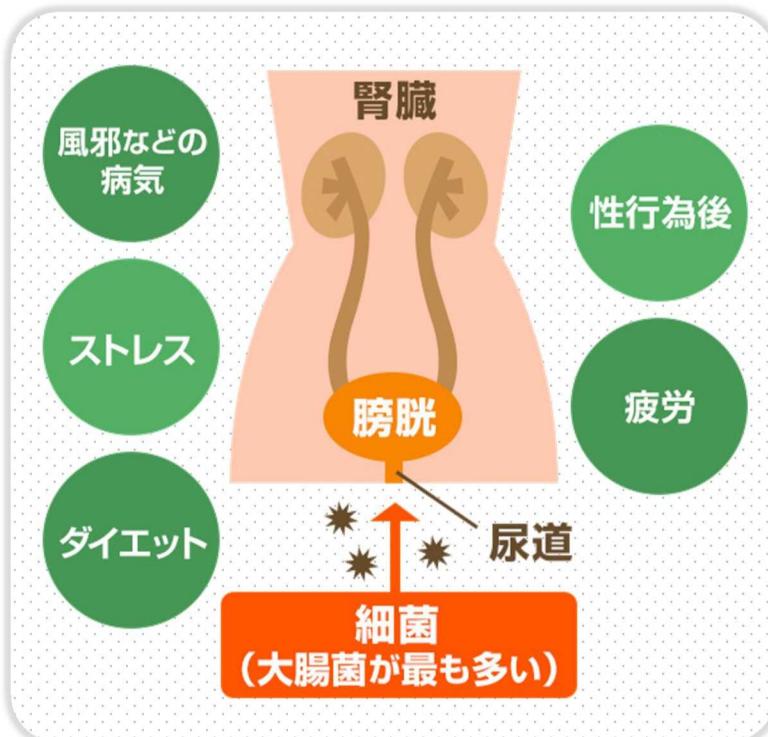


慢性的に炎症が起こる原因となって
いる疾患の治療が必要です。

膀胱炎とは

膀胱には細菌に対する免疫力があるため、健康な状態であれば、感染することはありません。しかし、疲労やかぜ、ストレス、月経、身体の冷えなどにより、免疫力が低下すると、膀胱の粘膜に細菌が感染し、膀胱炎を起こすことがあります。また、排尿を長期間我慢したときなども膀胱炎になることがあります。女性に多い病気です。

膀胱炎には、急性膀胱炎と、慢性膀胱炎があります。



急性膀胱炎の症状

- ・排尿時の痛み
- ・頻尿、残尿感
- ・尿のにごり（膿が混じる）
- ・血尿が出ることがある



！抗菌薬を用いて治療します。
細菌を洗い流す目的で、水分を
多めに摂取してください。

慢性膀胱炎の症状

- ・症状が軽いか、自覚症状に乏しい場合がある



！膀胱炎の治療とともに、
原因となっている疾患の治療
を行います。

尿路感染症のまとめ

尿路感染症による主な症状



頻尿・排尿時の痛み・残尿感・尿のにごり・血尿・下腹部の不快感・下腹部の痛み

予防と対策

- ・適度な水分摂取を促す(尿量 1,000~1,500ml/日が目安)。
- ・排尿を我慢しないよう声をかける。
- ・身体を冷やさないようにする。
- ・排便後は前から後ろへ清拭し、原因菌の侵入対策を行う。
- ・陰部の清潔を保つよう心がける。
- ・手洗いをし、手はいつも清潔にしておきましょう。
- ・排尿回数、痛み、尿の性状を確認し、早期発見に繋げる。



～おわりに～



尿路感染症の病気にならないよう、症状・原因・予防策を参考にしていただけたらと思います。水分補給は尿路感染症の予防だけでなく、高齢者の健康全体にとってとても大切です。意識して水分をとるように心がけたいものです。